

緊急速報**絶対に知っておきたいこと！****月報 第二号****外国人介護福祉士候補者の国試対策情報****実施設の候補生は大丈夫？？**

- インドネシア・フィリピン人などの外国人にとって、漢字はどのように見えるのでしょうか？
- 画数の多い漢字を本当に暗記できるのでしょうか？
- どこからどこまで漢字を覚えればよいのでしょうか？
- 日本人でも読めない漢字を、なぜ外国人に覚えさせるのでしょうか？（2ページ参照）

施設の声

その1、日本語の概念としてすんなり理解ができないです。たとえば、英語に訳せないような日本独自の言葉が難しいですね。

(長野県F施設)

その2、現在、ボランティアの人々に日本語を指導してもらっていますが、いまだに日常業務にも支障があるレベルです。国試にもかかるとは到底思えないので、指導を考え直さなければと思っています。

(神奈川県S施設)

その3、外国人には熟語漢字の言葉がとても難しい様ですね。国家試験には沢山の難しい漢字が出ると思うので指導に困っていますよ。

(和歌山県のH施設)

その4、施設内で指導をしているのですが、国家試験対策をしていても普通の漢字は読めても、介護の専門用語になると読めないし、意味理解ができないです。介護用語の専門書をひきながら、勉強しても時間がかかりすぎ、英語で書かれていてもインドネシア人は理解ができないですからね。

(大阪府A施設)

その5、以前は国家試験の過去問題、特に法律関係などを英文表記している問題を勉強させていたが、事業団からは日本語で指導するほうが良いと言われたが、現実的には難しい点もあるので、どうしても英語訳に頼ってしまうんですよ。

(千葉県M施設)

その6、施設内でスタッフが日本語を指導することになったが、日本語の学習方法を知らないためにどのように指導をすれば良いか全然分からないので困っている。他の施設はどうしているんですかね。

(鹿児島県G施設)

I 漢字は難しい？？

もっと漢字に親しみを持てる勉強の仕方があるはずです。

「書けなくても読めれば大丈夫！！」という考え方を持って。

その根拠とは・・・日本人でも全ての漢字を知っていますか？

正確に書くことはできますか？

「覚えよう、暗記しなければ」と考えるから難しく感じ、嫌いにもなります。

ついつい、無理やりに漢字を読んで書けるように練習させるのが、日本人の勝手な考えです。

漢字を書けなくても、正しい漢字を選べれば大丈夫という意識を持ちましょう。

その時には、「同音異義語」に注意して、指導することが大切です。

例えば、POで漢字練習をさせると良いでしょう。

そして、漢字の造りに关心を持たせて、身体に関する漢字は「肉月」が多くあることを知らせると、漢字に理解するようになります。

Q 読めない漢字に対してどう対応すればよいのか？？

漢字に対する頑健力を養うことがポイント！！

1、【熟語漢字】の場合は一文字ずつ漢字を分解して訓読み化させる。(3ページ下参照)

2、文の中で使われている熟語漢字が分からない場合には

① 一文の中にある他の語彙から文意を類推して、読めない漢字の読みを類推する方法。

② 複数の文、文脈を理解しながら、読めない漢字の読みを類推して読む方法。

※ ①②ともに日常に行っている業務内容を理解していれば、知識が正しく習得されたものと結びつけて、音(読み)をつけ合わせて、その正誤を確認することができます。

この点を指導して下さい。

II 漢字習得の効果的な方法とは？

必ず、「小学生用の国語辞典」を使わせること。

対訳辞書・電子辞書は使わせないことが大前提！！

理由：① 小学生用であれば「文字が大きく読みやすい」簡単な言葉で書かれている。

② 言葉の説明が簡潔であり、チャート図や図解で説明している。

③ 対訳辞書は100%直訳できず、日本語の意味とは全て合致できるわけではない。

④ 電子辞書では一つの言葉(引いた言葉)しか習得できないが、

国語辞典を使うことで、その関連する語彙も目にすることができる。

貴施設の候補生は大丈夫？？ 今日から実践させてみましょう。

最初は辞書を引くことに慣れさせることが重要です。

漢字の学習では、話の流れの中でストーリー性をもたせて、漢字を習得させることが大切です。

＜予告文＞ってご存知ですか？ 「漢字を読ませるため」には絶対必要です。

＜予告文＞を作るためには、平仮名文字だけの文を「分から書き」で書くことが不可欠です。 「分から書き」とは文節ごとに区切る書き方のことです。

＜予告文＞とは「漢字書きをする言葉」をひらがな文字で書き、その言葉に下線を引き、次の行にてできたら漢字に切り替える方法です。

例文) わたしはとうきょうのかいごしせつではたらいています。

分から書き例) わたしは とうきょうの かいごしせつで はたらいています。

予告文例) わたしは いま とうきょうに すんでます。

漢字切り替え文) A 私は 今 東京に すんで、かいごしせつで はたらいています。

漢字切り替え文) B 私の介護施設は 東京にあり、働くところは すぎなみくです。

漢字切り替え文) C 杉並区は すみやすい まちです。

※ ① 文意を理解させ、文脈を読み取る力が不可欠です。

＜予告文＞のある文書で学習すると、非漢字圏の人々でも、自然に漢字を身につけることができ、平易な漢字から造りの複雑な漢字の「読み」を習得することができます。

また、文意・文脈が理解できると、知らない漢字にあたっても類推できる力が養われて、全文をおおまかに理解できるようになります。

この力は日本人でも文に対して使っている力で、「類推力」と言います。

※ ② なお、「訓読み漢字」が分からなければ、「音読み漢字」も分かりません。

「訓読み漢字」を習得させることで、漢字の概念（意味）が分かります。

そして、漢字習得には同じ領域の言葉を同時に習得させることが重要です。（4ページ上参照）

＜熟語漢字の習得の仕方＞をご存知ですか？

【漢字分解法とは】？

① 分解法には二種類あり、一つの漢字を分解する（一語分解）と、熟語漢字に対する分解法とがあります。一語分解法は、その漢字の語源を理解するための方法であり、読みは必ず、「訓読み」で、必然的にその言葉の意味が正しく分かる方法でもあります。

② 熟語分解とは、漢字が二文字以上で作られた熟語の意味を理解する方法で、複数の漢字を分解することにより、熟語の意味が理解できる方法です。

読みは必ず、「訓読み」化することが特徴です。

※ ①と②の共通点は、分解することで、読みが「訓読み」化することにあるため、外国人教育では、特に、「訓読みの言葉」（和語）を日本語習得の基礎としなければならないことに、十二分な認識を持つことが必要です。

(例) ① 日 / 記

↓
言 / 己 ⇒ 己のことを言う

② 歩 / 行 介助

↓
歩いて 行く / 助ける
(歩いて行くことを助ける)

【漢字増幅法】とは？

多種類の方法がありますが、ここでは基本的な方法のみを紹介します。

① 基本となる漢字の上に、基本となる言葉をもとに、その言葉に関連する語彙を増幅することで、熟語化された言葉の意味が容易に理解できる方法でもあります。例えば、人間の臓器に関する「身体部位呼称」などには「肉月へん」が多く用いられているため、「肉月へん」の＜臓＞などは、他の部位呼称を加えるだけで、臓器名称になることが分かります。外国人にとってみれば、一つの漢字から同時に複数の漢字を読み取りできる方法が得られるため、漢字習得の効果的な方法と言えます。……<一次増幅法>

② 一次増幅法とは逆に、基本となる漢字の下に関連する漢字が後接するもので、新たに熟語を形成するものを言います。……<二次増幅法> (例参照)

(例)

① 心 肝 すいじん

臓

②

血

液 管 植 便 糖

III 漢字習得の簡単な環境作り

具体的な主な方法は。。。

その1、職場で使用している物品に、物品名をラベルで貼り、漢字名であれば必ず、【赤字】で振り仮名をふること。

その2、スタッフとの会話、あるいは入所者との会話で分からぬ言葉は必ず、メモ書きをさせ、「漢字書き」があるかどうかを質問させること。

その3、外国人が作成した書類等が、ひらがな書きの文字があれば必ず、漢字書きをスタッフは要求すること。

その4、書類作成はP Cを必ず使い、漢字の選択能力を養うこと。

※ 漢字は基本的に読めればよいことを何度も言い聞かせて、書く指導は一切しないことが、非漢字圏の外国人に対して、一番重要な基本の指導法です。
このことを十分認識した上で、対応・指導して下さい。

V 日本語教材で困っていませんか？

【教材紹介】

- ① 【100万人の日本語NO1、2】の特徴は予告文が沢山のっています。ストーリー性（話の流れ）の中で、漢字の習得ができます。同時に、文を作る（構文能力）が身につけられるので、国家試験の読解力が養われます。
- ② 【漢字の一と1、2】については「訓読み漢字」を中心に習得できるのが特徴で、【漢字の一と1】は【漢字増幅法】、【漢字の一と2】は【漢字分解法】を学ぶことができます。

「日本語を日本語だけで学ぶ」ための唯一の専門教材です



【テキスト】

「100万人の日本語 No.1」



【テキスト】

「100万人の日本語 No.2」



【副教材】

「漢字の一と1」



【副教材】

「漢字の一と2」

IV 貴施設の外国人の日本語能力を無料で査定します。

初回のみ無料査定をご希望の施設は、FAXをご返送ください。

当会では、外国人介護士候補者のための日本語能力試験（7段階レベル）、および、国家試験対策の試験（3段階レベル）を実施しています。

※ 受験者には試験結果に基づき、考察表（言語能力到達度）にあわせて、学習アドバイスをしています。ただし、現在依頼している日本語教師任せにせず、施設担当者が客観的な評価に基づいて、現状を把握することが外国人の日本語能力を伸ばすために重要です。

※ そのためには、**3ヶ月単位で日本語力をチェックすることが大切です！**

常に、貴施設で働く外国人の日本語能力の変化を、客観的な数値で評価できる定期テストを重要視しましょう。

その理由は、あくまでも**国家試験を受験できる能力があるか、ないか**が分からぬ限り、受け入れ施設にとっても、また、貴施設で働く外国人にとっても先行きが不安で、将来の計画が立てられない状況を作ることは、避けなくてはなりません。

※ 今後、貴施設の安定した運営のためにも、ぜひ定期テストを受けることをおすすめします。すでに、多くの施設ではその効果がでて安心したという声も増えてきています。

◆貴施設の担当窓口のメールアドレスをお教えて下さい。

メールアドレスが分かる方には、次号からメールでお知らせいたします。

FAX番号 03-6913-6913

| 施設名 | | ご担当者名 | |
|-----|---------------------|----------------------|----------------------------|
| 所在地 | | 電話 FAX メール | |
| 候補者 | 入国年度： 国籍： 人数： | 希望される ものに○をして下さい。 | ① 日本語能力の無料査定 ② 日本語教材の紹介 |

※「指導の仕方が難しい！どうすればいいの？」
という質問や、ご意見、「入手したい情報」など何でも結構です。当会までお寄せください。

特定非営利活動法人 全国日本語教師会事務局

〒 167-0022 杉並区下井草 4-13-6-202

TEL・FAX： 03-6913-6913

メール： nihongokyoushikai@gmail.com